日米

THE JAPANESE AMERICAN
PUBLISHED DAILY AT 650 ELLIS STREET SAN FRANCISCO CALIFORNIA
PHONE PROSPECT 889
ENTERED AS S. F. POST OFFICE AS SECOND CLASS MATTER
K. ANKO, EDITOR & PROP.
SUBSCRIPTION RATES IN ADVANCE
DAILY.....ONE YEAR..... $11.00
DAILY.....SIX MONTHS..... 5.80
DAILY.....ONE MONTH..... 1.00
SINGLE COPIES..... 5 CENTS

時事短評

汎米會議

米國大統領クーリッヂ氏は今年十二月十日、米國に於て全ラテンアメリカ會議を開催すべく各國ハバナに於ける汎米會議に決定したので、主人役たる米國が各國代表を招待するに當り改めて聲明を見た譯である。此の會議たるや主唱たる米國の聲明する所では南北中米の平和促進の爲めであるとあるが、日頃から米國の壓迫を感じつゝあつた墨國其他の諸國が先づ米國の態度の改變を力說してやまなかつた。米國としても此點に關しては大に顧慮したやうであるし其後の彼我の關係も大分融和して來たから今度の會議は相當の効果を擧ぐることであらう。

議員選擧戰

今秋は大統領の選擧といふ大物の選擧戰を控へて居る外に、加州では、合衆國上院議員の選擧戰が一花さかすであらうと見られて居る。即ち現合衆國上院議員のハイラム・ジョンソン氏は論明となり、今秋はその選擧が行はれる譯である。現にジョンソン氏は再起すべく立候補の屆を了へてゐるが之に對抗して前加州知事リチャソン氏は立候補の手續を了した。リチャドソン氏は共和黨正統派に屬する人で先年、加州知事選擧の際、スチヘンス知事に對抗して出馬し州會計官の地位より一躍、知事の椅子をかち得た人物であつて久しく加州政界は共和黨の進歩派即ちジョンソン氏系統によつて壓められてゐたものが茲に一角を切り崩され進歩派に一大打撃を感ぜしめたものであつた。ジョンソン氏老たりと雖も猶加州に於ける勢力依然として侮るべからざるものがあらうが片方リチャドソン氏もさるもの、先年の知事選擧戰の如き奇勝を博せないとも限られぬ。今秋の加州選擧界は一層興味をそゝられる。

新駐米大使

1

賜暇歸朝で節子姫一伴、歸朝した松平大使が東京に着く後任の噂が又パラ〳〵たつた。即ち松平大使は今秋、節子姫の御慶事をすませばかねて噂の駐英大使に任ぜられの後には現外務次官の出淵勝次氏が任命されだらうとゴシップのである。松平大使は華府出發の際にも暫らくのお別れとまつてはゐたが外交官の暫くのお別れの言葉は一時の公事官に昇進して石井子の女房役桑島メッセンジャー總領事も松平の後を追つて今秋ハバナに於ける汎米會議に決定したので、主人役たる米國が各國代表を招待するに當り改めて聲明を見た譯である。此の會議たるや主唱たる米國の聲明する所では南北中米の平和促進の爲めであるとあるが、日頃から米國の壓迫を感じつゝあつた墨國其他の諸國が先づ米國の態度の改變を力說してやまなかつた。米國としても此點に關しては大に顧慮したやうであるし其後の彼我の關係も大分融和して來たから今度の會議は相當の効果を擧ぐることであらう。

議員選擧戰

今秋は大統領の選擧といふ大物の選擧戰を控へて居る外に、加州では、合衆國上院議員の選擧戰が一花さかすであらうと見られて居る。即ち現合衆國上院議員のハイラム・ジョンソン氏は論明となり、今秋はその選擧が行はれる譯である。現にジョンソン氏は再起すべく立候補の屆を了へてゐるが之に對抗して前加州知事リチャソン氏は立候補の手續を了した。リチャドソン氏は共和黨正統派に屬する人で先年、加州知事選擧の際、スチヘンス知事に對抗して出馬し州會計官の地位より一躍、知事の椅子をかち得た人物であつて久しく加州政界は共和黨の進歩派即ちジョンソン氏系統によつて壓められてゐたものが茲に一角を切り崩され進歩派に一大打撃を感ぜしめたものであつた。ジョンソン氏老たりと雖も猶加州に於ける勢力依然として侮るべからざるものがあらうが片方リチャドソン氏もさるもの、先年の知事選擧戰の如き奇勝を博せないとも限られぬ。今秋の加州選擧界は一層興味をそゝられる。

新駐米大使

2

松平大使の後任たるべく噂の駐英大使松井慶四郎氏は勇退し出淵次官駐米大使か

松平恒雄大使は駐英大使たらん

松井慶四郎氏は勇退し出淵次官駐米大使か

松平恒雄氏の後任として駐英大使となり外務次官出淵勝次氏米國大使となる模樣

田中首相は京濱運河を視察

田中首相は滿蒙行きの途中、明日より京濱運河に關して視察するはずのところ來月二日に延期した

京濱運河問題で政府は非常な注意

大森海岸の埋立に反對して成島普松なるものが二十二日赤坂離宮に關して直訴を企てた事件につき政府は注意してゐる

樞密院本會議

來る二十七日開催と決定

治安維持法改正緊急勅令案に關して樞密院の本會議は來る二十七日に開催と決定した

不敬事件の責任で後藤長官正式辭表

藤文夫氏は歸京して二十三日正式に辭表を提出した

駐日獨逸大使決定

駐日ドイツ大使ウィルヘルム・ドルフ博士の後任としてフォレッチ氏が決定した

東京市公債で佛國との間に問題起る

東京市は佛國より千二百萬ポンドの公債を募集しこれを新フランの値にて返還するといふので國際問題となり仲裁々判所へ持出してつひに東京市の敗訴となつたが今回この問題が再燃し佛國より差押へらるゝとかで問題が大きくなつた

阪神乘合自動車許可

阪神間道路に乘り合自動車今回許可さる

本社東京特電 廿三日午前十時

横濱市電故障で負傷

横濱櫻木町にて二十三日市電のコントローラーより火をふき十數名の負傷者を出した

廣文庫の著者物集博士逝く

井田桑港總領事の義父

國文學の泰斗にして廣文庫、著者文學博士物集寛氏は二十三日大分にて逝去、行年八十歳

（註）桑港總領事井田守三氏夫人は物集文學博士の令嬢である

宋美齡方で節句を祝

將介石近く北京へ

宋子文氏宅で幹部と會合し馮玉祥將軍と同道

將介石將軍は二十二日ナンキンよりシャンハイに來り將軍の夫人宋美齡氏の家にて端午の節句を祝ひ後宋美齡氏の實兄宋子文氏宅にて幹部と會議を開き、馮玉祥將軍と共に二十五日シャンハイを發してペキンに赴く豫定であるといふ

風雲を卷き起す民主黨全國大會

禁酒問題が論戰の中心

（ユーストン二十三日）民主黨の全國大會近づき當市はやうやく活氣づいて來た。民主黨の大會においては各候補の政綱が今のところ大なる注意をもつて見られてゐる。スミス氏は主黨の全國大會近づきニューヨーク州知事に反し禁酒問題に耐ふの中心となるであらうし、これがためにスミス氏は苦境に陥るのではなからうかと見られてゐる。

禁酒法の勵行を州權に一任せよ

と唱導するに對しテニシー知事フル氏は絕對の禁酒を標榜し

紐育市長大會地へ

スミス氏後援の爲め

（ニューヨーク二十三日）民主黨の全國大會近づきニューヨーク州知事スミス氏を後援するためニューヨーク市長ウオーカー氏以下本日テキサス州のヒューストン市へ向かつてニューヨーク州の大議員の親友であるチャイ州のミルトン氏に多大の興味を惹きさせてゐる。それはマーカツー氏は千九百二十四年スミス氏を公認候補を爭うて兩名ミークを出發した

民主黨の成行注視

結局スミス氏が民主黨の公認候補とならむ

（ワシントン二十三日）當市不明であるが大部分はスミス氏に居る共和黨の巨頭連はヒューストンの民主黨大會開催近づきしため南方の風雲如何と注目してゐるが多分大會においてスミス氏が選擧されるものと觀測してゐる。共和黨においては禁酒問題も農業救濟問題もともに懸念しては居るが、民主黨とは大統領クーリッヂ氏が農業救濟案を否決したからこの問題に關しては民主黨が勝味多き

ものと見てゐる。一般にニューヨーク知事スミス氏が第一回の投票で規定の三分の二を得て公認候補となるであらうと見られてゐる。ペンシルバニア州の代表者はスミスしてゐるが大部分はスミス氏に拋ぜられ少數がリード氏に投ぜられ少數がスミス氏に投ぜられ少數がスミス氏に投ぜられ少數がスミス

アムンゼンと覺しいSOS露汽船に

遭難地點の推定はいまだ全く立たず

（ノールウエー、フロムソー廿三日）ロシアの碎氷船マリギン號は本日午後一時發信を無電を感受したが右は舊友ノビレ少將を救ふべく北極に向かふ途中行方不明になつたロアルドアムンゼン氏及佛國飛行家ルネ、ギルボオ氏をのせた佛國ファルマン水上飛機よりの發信と推は不可能であるからである

察される旨報道した。マリギン廿三日）マリギン號は發信の時キープ島南端十九哩の海上にあり、右が確實にファルマン機よりの無電とされれば同機はマリギン號から六十哩の地點で遭難したものと推定することが出來るファルマン機搭載のラヂオ發信器はもし海上に遭難途中行方不明になつたロアルドアムンゼン氏及佛國飛行家ルネ、ギルボオ氏をのせた佛國ファルマン水上飛機よりの發信と推は不可能であるからである

御大典を機會に米國の少年團を

日本の少年團で招待する

（東京發）東京市内合少年團典を拜觀したのち奈良、神戸をでは今秋の御大典を機會に米國まはつて海路を横濱から東京にの少年團を招待すべく目下日米師團の盟日御國する豫定で、この協會と交渉中であるが大滯在期間は約十六日、その間、各地の少年團ともにキャンプ生活でおし通し大に友情をあたゝめることになつてゐる

豫定はパトロールを加へてアメリカ東海岸の代表團員約十七名で、この經費は多分日米親善の意味から日米協會で負擔することになつてゐる。

御大典に關して一番憂慮されるのは旅館の拂底で大騒ぎ後直に入京し四五日滞在更に日光、鎌倉、江ノ島、箱根、木〻ホテル代用に用ひられるこゝ曾日本ライン等を廻遊して京都に入り御大ささなつてゐるが少年野營團はその心配はない

御大典

死んだと思つた兄から一萬圓

遺言でころがり込む

紐育で死んだ文五郎

（紐育發）昨年の二月市内パーク、アベニュ九十六町目の米人實業家ローゼマン氏の家庭働をしてゐた濱田文五郎といふ三重縣人が脳病で死んだ、文五郎は死を豫期してゐたものゝごとく寝床の下に一通の遺書「私の全財産中より病院諸費葬儀料をさし引いて殘額は日本三重縣志摩郡加茂村濱田市五郎に送りくだされたし」とあつた。死後の世話は友人知己やまたは當時日曾供濱郡安員長鳴井氏等でやつ所が金は當地正金銀行に貯蓄してあつたため米國の遺言財産譲り渡し規定ヶ脳みを生じたが、幾いたのは市五郎で文五郎が廿年餘家出以來何の消息もなく死んだ者とあきらめ、あんな親兄弟に不孝者はないと言ひくらしてゐた所へ轉がりこんだ一萬圓近くの金に改めて心掛けのよい兄さんと線香をあげたいふ

四月中の出入國者

カナダは出國より入國者が多數

四月度の米加間入國者統計として外務省で發表したものによる三月中米國及布哇よりの歸國者は

米國より布哇より入國者は米國へ再入國移民

入國者計

（横濱十五日發）横濱發熊丸の（全館拂込）の點式貨物船をつくつて大體牛糸檢査所に隣接する岸通五丁目の二〇）紀の國屋ホテル（仲通四の六一）熊本屋旅館（相生町五の七五）、大黒屋旅館（本町六の八二）横濱ホテル（扇町一の二二）でいまゝで寄りよ機熟して具體案が出來上り六月三日午後紀の國屋ホテル坂口滿次郎氏等

一千人を收容する新式移民宿が横濱に建つ

從來の五旅館が合同して

旅館は

（横濱十五日發）横濱發熊丸の（全館拂込）の點式貨物船をつくつて大體牛糸檢査所に隣接する岸通五丁目の二〇）紀の國屋ホテル（仲通四の六一）熊本屋旅館（相生町五の七五）、大黒屋旅館（本町六の八二）横濱ホテル（扇町一の二二）でいまゝで寄りよ機熟して具體案が出來上り六月三日午後紀の國屋ホテル坂口滿次郎氏等

佐々木總長の告別の法筵

（横濱十五日發）昨年の二月市内パーク、アベニュ九十六町目の米人實業家ローゼマン氏の家庭働をしてゐた濱田文五郎といふ三重縣人が脳病で死んだ、文五郎は死を豫期してゐたものゝごとく寝床の下に一通の遺書「私の全財産中より病院諸費葬儀料をさし引いて殘額は日本三重縣志摩郡加茂村濱田市五郎に送りくだされたし」とあつた。死後の世話は友人知己やまたは當時日曾供濱郡安員長鳴井氏等でやつ所が金は當地正金銀行に貯蓄してあつたため米國の遺言財産譲り渡し規定ヶ脳みを生じたが、幾いたのは市五郎で文五郎が廿年餘家出以來何の消息もなく死んだ者とあきらめ、あんな親兄弟に不孝者はないと言ひくらしてゐた所へ轉がりこんだ一萬圓近くの金に改めて心掛けのよい兄さんと線香をあげたいふ

故國の近況（一）

在米同胞に關係ある方面

小野昇六

震災後の東京が復興局の事業として區劃整理も着々と進行中にて、現在は殆ど各區とも道路は出來上り、ゴタゴタ返して工事が急いでゐるのですがこれがため商賣は中止の有樣で、十一月の御大典までには大略切りあけるといふ復興局の計畫にて、改築をいそいでゐるので先ごろまでは轉移料の他區劃整理に生ずる損害賠償については相當に手當金も下附になつたそうですが現在には殆ど完成に近くなつたので交渉の暇なく、ために決定的に取定められ、これが原因で色々の非難はあるのですが、殘る部分少きため間もなくすつかり有終の美を成すべく、申すまでもなく手形割引金然り、過ぎ去る災後は金融機關な

今度は勞働省で裏書き券を發給

再入許證や旅券の査證や裏書券など嚴重な手續

七月一日より實施

井田總領事とヤング知事

此寫眞は井田總領事が桑港でヤング加州知事始め米人有力者をセネタ、ホテルに招待した當時の寫眞です、向つて右ヤング知事その次は井田總領事です

現在では支那移民にのみ行はれてゐるといふ米國勞働省のアイデンテイフイケーション・カード・システムを全部の外國移民に適用するといふ外米國領事が發給するもので、桑港米人を裏書きするもので、現在の日本移民の如き再入國許可證のみの所有移民が入國なし徳のものに對しては重復した手續である觀がないでもないが規定中には右證明を發給する領事は書式中の定率移民または非定率移民の區別を明かにし、旅券査證署號をも右カードに記入すべしとあり米國に入らんとする非移民外のすべての者の内新移民法第四條イ一條當號の者及學生のみには適用せず明記されてゐるからには相當廣義のものなる外米國領事が發給するもので、現在の日本移民の如き再入國許可證のみの所有移民が入國なし徳のものに對しては重復した手續である觀がないでもないが規定中には右證明を發給する領事は書式中の定率移民または非定率移民の區別を明かにし、旅券査證署號をも右カードに記入すべしとあり

米國に入らんとする非移民外のすべての者の内新移民法第四條イ一條當號の者及學生のみには適用せず明記されてゐるからには相當廣義のものなる外米國領事が發給するもので、現在の日本移民の如き再入國許可證のみの所有移民が入國なし徳のものに對しては重復した手續である觀がないでもないが規定中には右證明を發給する領事は書式中の定率移民または非定率移民の區別を明かにし、旅券査證署號をも右カードに記入すべしとあり

千九百二十八年七月一日以降定率または非定率移民査證なす在外領事は、學生および新移民法第四條イ一項當號のものを除き、その各にアイデンデイフイケーション・カードを發給するものとす、その樣式は右發給領事とカード所持者の査證發給を受けたること確實であることを明かに記入し本人の寫眞を貼附してその人種、姓名、國籍、生年月日、人種別、署名その他を明記する

日曜學校代表を乘せ天洋丸横濱解纜

桑港羅府へ船客四百六十

桑港入港は來月六日の筈

郵船の天洋丸は一昨六月二十二日四百六十七名である、この内には例の羅府で開催せられる世界日曜學校大會へ出席すべき日本の代表者三百名を乘せてゐるあつて船客は桑港あり一等六十七名、二等二十七名、三等百四十名、羅府上り一等十七、二等二十二名、三等百八十七、總計一九〇名、桑港あり一等二十七名、二等二十二名、三等百四十名、羅府上り一等十七、二等二十二名、三等百八十七、總計五四〇名である。

輕妙な曲飛び米人の戰鬪機試驗

米國から購入して

（東京發）日本ではいまだ曾て見たこともないといふ驚異的飛行性能を有するアメリカボーイング會社製作の艦上戰鬪機、（陸上機四百廿馬力）を我が海軍で購入することに決定したので五月三十一日午後一時半より霞ケ浦航空隊飛行場で公式性能試驗飛行士タワー氏操縦して行つた、東京より同氏は思はねはどであつたと語る　山本中將海軍航空本部長

同大學教官、軍部員その他陸軍關係者及び民間飛行機製作代表者等專門家ばかり二百七名參集、午後一時半から三十分間タワー氏はほんの垂直に思はれる八十度以上の角度で上昇しその背後前に八月より開始する活動期にそなへる意味で役員の全部改選を行ふたがその餌ぶれは左のごとし

▲ヤングスター組　▲曾長遠藤

來る活動期に備ふ少年部の新陣容

六組何れも新顔

サター街年曾少年部では夏期休暇前に八月より開始する活動期にそなへる意味で役員の全部改選を行ふたがその餌ぶれは左のごとし

▲ヤングスター組　▲曾長遠藤

又も人騒がせの黑の追剝出沒

一昨夜宮本某が黑人住宅前で金品强奪さる

當市の宮本某は一昨夜十一時ごろ市場よりの歸り道ナンバーフーの電車でサター街でウイブスタ街角に下車しサイドウオーク過ぎ邦婦人に所持の手さげを奪はれたことも度々あるといふ危害を加へずに逃げ去つたが黑人住宅の暗闇より二人の黑人飛び出し宮本に足を運ぶや突然

女性の話題

竜見調節(さうぞこの言葉に不快をお感じになる方はお許みにならないで)。それでお疲りになつたお方だけに耳にいれませうが、加州の大部分の婦人は公然とまたは秘密にバース、コントロオルを實行してゐる事が數字の上で判りました。そんな事は數字をまつまでもなく判つてゐるさいふお方もありませうが!……

◇

州保健局の統計によりますと一九二七年度の出産率は人口千人につき一九・九分で、過去五ヶ年間の最低率を示してゐます。

◇

然し、結婚した女の産児率は全米平均統計よりも大分多く大抵の結婚した加州の女は子供を生みますが、只生む數が極めて少いのです。全米統計では既婚女子百人中十人六分の石女がありますが加州では石女は六人五分しかありません。

◎

即ち生む能率は最もものなげ。子供を生まないやうにする女が多いことが判ります。全米既婚女統計では百人につき三十三人の子供がある事になつてゐますが、加州ではたつた廿六人六分しかありません。

◇

私は此等の數字を見て善惡を問はふとするものではありません。しかし、色々のことを考へさせられます。そして皆さんにも考へていただきたいと思ふだけです。

◇

加州大學の細菌學教授ベラクゥ井ズ博士は『皆さん接吻することを怖れてはなりません。精々接吻なさるがよろしい』と昨日ラークレーシチ!コンモンス、クラブで講演しました。『勿論接吻すれば黴菌が口から口へうつることはいふまでもありません』云はぬ事ではない、それでは何にもならないではありませんか

◇

『然し……』と博士は云ひます。『黴菌ことを〜くが有害さは云へません。御承知の通り、あまたの黴菌の中には全然無害であるばかりでなく有益なものもあまたあります。接吻によつて有害ですが何もそれを恐れる程の事はありません。

◇

接吻によつて利益することろ差引勘定をして見ると、黴菌のうつることなどは何ども、ないぢやありませんか……』博士は大いに驚愕の抜巧につき講釋はしいたしませんでした。

◇

だから、接吻して病氣をつても博士は責任を負ひません、そんな方は逃が惡かつたのだとあきらめなさい。

新小説 世紀の夜 (百十四)

尾崎士郎作

生ける幻像 (十一)

枯枝のやうに今にもぽきぽきと折れさうな細い手が前にのびて、樣珠の胃に觸れたと思つた瞬間、闇の中から急に蒼ざめた顔が現れたのである。

それは不思議にも無上の顔でなかつた。おや、如何したのだらう、一樣珠はいままで一度も見たことのないその男の顔をじろ〜と眺めてゐるうちに自分の視力がだん〜鈍つてくるのを感じた四邊がほうとして白い霧のやうなものが彼女の身體を包んでしまつたのである。

『おい、カルメン!』

遠くから深い響をもつて一つの聲が鋭く彼女の耳に迫つて來た。

その聲を彼女は長い間、聞き馴れてゐるやうな氣がしたのである。しかし、誰の聲だかまるでわからなかつた。恐ろしさのために頭がくら〜ッとして危く前に倒れさうになつた時、だしぬけに濃霧にほかしだされた繪のやうに波女の眼の前に現れたのは荒川克彦の顔であつた。

『あら、一荒川さんぢやないの何時、あなたは歸つてゐらつしたの?』

樣珠は克彦の胸にさびかいらうとしたが、しかし二人の間を蜘蛛の巣のやうなものが縱横に張りつめてゐて身體を動かすことができなかつた。彼女はしきりに藻掻いてゐるうち克彦の顔はだん〜彼女から離れていつた。よく見ると、克彦はカルメンの舞臺にでるドン、ホセの程度までれい却されたる器品は拍手の起る音を聞いたのは、

南加版
支社電話〔MUニー八四一五〕

方々から袖引れ
遠山春子大ホクホク
ブレークファストクラブの招待を受けて出席し
聖林劇場は日延べ

遠山一行のミュージックボックスでの再度の成功は既報の如く渉中の處昨夜協定成立しアルバ日本着の袖が切れて袖が切れは九十五弗と決定したが昨年はめわせぬと羅府見の噂の種昨日は當市一流のクラブとして知られたブレーク、ファスト、クラブに招待されて便宜上久美氏の通譯し小春さんと二人出席クラブの大廣間七午前八時にブレークファストの席に列して遠山・小春の兩君が主賓と陪賓がピーハイヤーといふ掉て方その上軽夜ミュージックボックスは大入滿員、遂に本日は一週間の日延べを提案して市内デーゴから桑港方面へ乘出すすれば遺米俳優としての最成功者。日米、明行旨紹介しても大成功といはねばならぬ一方ロングビーチ博への出場交渉も出て來てるので袖が幾つあつても足らぬ樣子である

年度の相場協定を各紙詰言と交渉の處昨夜協定成立しアルバコ一噸三百弗、ワナは百卅弗鰹は八十五弗でワナは百十弗鰹は八十五弗であつた

鈴木庸氏長男
匡君遂に死去す

匡君は病氣入院中の盛癖性肺炎にかゝり二十一日死去したる由なるが葬儀は來る廿三日午後一時ローサンゼルス、北サンピードロ街一九の事務所にて開催したが出席者は上山章人夫妻、津尺麗鈴、チ市氏母堂は永年ハワイに在留中補、伯其他同人諸氏三十名以上

御目出度三件

廣田氏歓迎を兼ね廣島縣人會では野一智の慰勞會を兼ね文藝座談會を本月例會は去る十九夜午後八時より市岡ダクター氏の邸にて開催したが出席者は上山章人夫妻、津尺麗鈴、チ市氏母堂は永年ハワイに在留中補、伯其他同人諸氏三十名以上

廣島縣人會
慰勞會

廣島縣人會では野一智の慰勞會を兼ね文藝座談會を本月例會は去る十九夜午後八時より市岡ダクター氏の邸にて開催したが出席者は上山章人夫妻、津尺麗鈴、チ市氏母堂は永年ハワイに在留中補、伯其他同人諸氏三十名以上

鮪が噸で
三百弗

昨年より九十弗高く協定された

サンピードロ日本人漁業組合で昨年は鮪のシーズンに入つたので本年は

頗る賑つた
座談會

千浦、伯の高山紀行談

三階の窓から
（三三七）
岡杜人

「南加の風光を書きたいが一向何んな場所がいゝだらふ」と古澤ドクターが千浦さんを同伴してやつて來ねられて、雀ねられてのお出、面白い樣ですと實はる氣持ちのいゝのは人間の已ごまかし年ら知つたか振りをする憧性・ウエスト・の樣に兩親揃をかけてセねくく返る。

御挨拶にもせよ「そうですねゝ」とやり出す。素人の出た風光と繪書きさんの出た風光同じ一本の草、花にしても、一つの行ら一本の草、一片、全然趣を殊にするもの、同じ繪書さんにしても赤それ一見方が違るその目ーの氣分によつて赤見られ霞にも青にも色もかわれば紫の走りも違ふ

そうですね、グリフィス、パ

「プログラムの表紙の挿繪が出來たよ」チ浦さんは數日後に二階の窓から訪ねて美濃紙に書かれた一枚の繪を私の机上に投げ出した、題名は「南加の涼味」

「南加の涼味」

ユーカリーとペパーツリーはプラムと同じく南加の風光から離す事の出來ない木だ、この三つの木の中でペパーツリーは温かい南國に涼味を加へて優しく面白い、殊に赤い夕陽のしやむ時啄木鳥がこの梢に餌をあさり、コツ〜と音をたてる時ふ氣分になる

何處でせ、と聞ければこの間ガーデングローブにいつた時村田さんの農園を訪ねてペパーツリーの老樹があまりに見事なので見れば、この樹間から見た樣なれば、ペパーツリーの海の氣分が氣に入つて走らしたの樹から見た平野の農園、たしかに何處かで見た樣な場所

山縣氏母堂
死亡

片山商店の
移轉

盛大なりし
修業式と學藝會
父兄全部出席滿堂の盛會

既報の如くガーデングローブ學園では去る十七日午後二時半より第二回修業式及び學藝會を催したが朝の間は曇つてゐた空も午後より晴れ兒童の進級を祝するに相應しい好日和、會場は井田齊氏によつて美しく裝飾されてあつた定刻には男女兒童四十餘名と父兄全部の父兄およびその他の有志諸氏約六十名が集合し盛會であつた、司會者小川君の挨拶に引續いて開會の辭より今元教師の開會宣言があり同氏の訓辭に次いで學園代表佐藤君、日本人協會代表相原清吉氏、祝辭および父兄代表西津氏、父兄代表郎氏の謝辭等あり式終つて賞狀および優等生として表彰せられた六名の生徒及び過去三ケ年間無缺席にて精勤せし一名の生徒等に對して賞狀および賞品を授與せらる氏名は學業優等

佐藤房枝
稲田蒲子
四津松子

長濱日本大勝
ガーデングローブ
サンダアナ
十九日

長濱日本軍は去る十七日（日曜）午後二時より羅府マンチエスター球場に於て聖林ハイワイ軍と會戰せしが十二對三の大スコアーを以て敵を粉碎せり

濱邊氏の不快

長濱貯蓄金融組合專務理事濱邊恭兎氏は二三日前より風邪の氣味にて目下就床中なるが一日も早く全快を祈る

喜谷氏住宅移轉

富市東アナハイム街に於て日光なれば紹留民諸兄姉の奮に信じて御祝立あらん事を希望すと盛信氏は今回東アナハイム街一六三六番に移轉された

學園主催野遊會
場所はターミナル海岸
各種運動福引等あり
ロングビーチ　六月廿日

學園では來る廿四日（日曜）午前十時よりターミナルアイム街生駒氏邸の太平洋グリ海岸に於てピクニック開催の由は既報の通りなるが既に各種プログラムも出來各委員が奔走準備を進めてゐるが當日のプログラム大要は

午前十時
集會

稱當及び獎物授與の事
▲個人競爭
スプーン競走　算術
二人一脚　二人三脚
二百ヤード　三百ヤード
腰掛競爭　糸食　クラッカー食
▲團體競技
稱傳競走　ボール投捕
バイ食　レリイ
球送り　ダッヂボール
陣取り　綱引
族送り　大人對子供ノダッヂボール
一回
▲婦人競走二回
等にして右終つて學園チームとの野球試合

福引賞品
として

移轉
廣瀬日本大勝
長濱日本大勝
盛大なりし
修業式と學藝會
父兄全部出席滿堂の盛會
學藝會
行はれたる
學藝會
は今元教師
移轉
廣告
尋ね人
尋ね人
南加廣告欄
保科孝平氏に急用
肥後屋ホテル
日本總領事館
日本總領事館
日本エキスプレス
甲山エキスプレス
確實迅速
中筋順
泉
藤井事務所
第一街グラージ
勸工場
かまぼこ
太平洋印刷所
福山家具金物店
富士活動常設館
今週大映畫
東邦映畫大傑作品
悲しき運命
木村宗雄
ラッキータキシ
ラッキータキシ
金澤式新案德用朝日ハッピー靴
特約店
米國總代理店
金澤商會
電氣治療機
江成電氣實驗所
江成大輔
天賞藥堂
新着荷
通經丸
解痳丸
子宮殺菌座藥
金製ペサリー
トッカピン

農業界

ゴシップ

▲葡萄園は目下水ひき最中である、作柄は多少の例外はあるが近年無比であることが素人眼にもあきらかだが、問題はその市場いかんである

▲耕作者はそれこそ一生懸命の興味をもってやったらたんとする葡萄園が凝視してゐる、シーヴィエーの活動及銀行團が提唱するアウトサイド耕作者のレーズンプールなどに深甚な注意を拂つてゐる

▲千差萬別の観かた考へかたあるけれども大體に於いて葡萄の生産過剰をさめ前途に多くの期待をかけてゐない、徒らに景氣のない太鼓肚語にまよはされるよりほど耕作者は無智でない

▲葡萄といつてもワイン葡萄は不景氣しらずところか本年もまたアリカシテ順四十弗はたしかだとみられてゐる、ワイン葡萄の所有者はこゝ兩三年はホクホクでくらされてゐるであらう

▲此ごろ目立つてふゑたのは本欄でかつて紹介したカブの試作である、筆者がみた範圍でも日本人の試作者が可なりに多い、多くは五エーカー、三エーカーの少きは家のまはりに數十本といふ風に

▲エプリカット、プルームなどに対する果實拳節が皮切りされてこゝ一二週のうちにピーチの合にゴタ〳〵があつたり何かして濕潤たる狀態である

▲但し作柄が葡萄でもピーチでも豐作である、みのつたものは採らねばならぬ、本年の中加には人夫の需要が昨年よりも多いの日本人の秋は近來にないほどなおほくの人が入こむで中加をにぎわはすだけはたしかのやうだ

▲傷き野菜のみはかゝる中にも相當の活氣を呈した霜はその二番の收穫豫想はさでなかつたさいふものゝそれは利益がすくなかつたといふだけのことで相當の收入になつたわけである

▲野菜ーキュカンボーは今日は市場不振だが今までには味をしめた當業者もゆくないそれにトメトは昨今市場旺盛であるので野菜業界はさも角にも活氣を呈してゐる

▲話は變はるがレーズン會社メリット社長もフーヴァーがいよ〳〵大統領にならば閣員の一椅子をしむるにいたることはこれまで二人の關係をみれば當然のやうに思はれる農務卿さころにおさまつて仕舞ふだらうがそうなつた、曉レーズン會社は？

布日常議員會

二十七日(水)夜開催

フレスノ日本人會では廿七日水曜午後八時より定期常議員會をひらき左の事項を協議するとの一、御大禮奉祝會の件

一、御大禮記念教濟事業の件

一、井田總領事接待の件

記念事業

原案修正

昨夜の布日理事會

記念する社會事業案御一位式を（相互濟）案に關する昨夜の布日理事會に諮問委員も列席しグロコミティーの報告にもとづき六年紀綱の一萬五千弗の基金募集原案を修正し毎年寄者如よ寄捨せらるゝ寄附金によつて當面急を要すべき教濟に着手することが妥當なりとのことに衆議一決しこの案を來るべき常議員會に提出することになり尚一二の協議があつて散會したが出席者は

増田　山本　野津　中川
宮　森田　山下及中田　木
村正剛理事長　玉福嶋　山根
飯野　京極の各顧問委員

自動車事故

昨日松本松太郎氏夫人谷長太郎氏等の二家族はリンゼーの松本氏密柑園を見物しての帰途午時半ごろリンコンクロビスの南アベニューの角で横台よりきたつたアーメット人ドライブの自動車にうちつけられ谷氏夫妻及び子供二人及び松本氏長男は大した怪我もなかつたが松本夫人は腰部に佐伯みち子嬢は額に三針の縫合を要する負傷をなしたが松本夫人はエキス光線試驗後ならでは判然せないが目下都立病院で面會謝絶中

●組合婦人會　サンデー廿四日午後七時半より組合教會婦人會の研究會が開催せられ

●出生　ソルタナ廣島縣人仁井吾一氏三男和夫十九日江田產院

●有江正次氏長女は康子と命名さる

●人院　佛教會の高田雷之助氏橋場病院へ

●理髪師入用　マデラ望月商店

●栗原嬢宗布　國學會のため栗原花枝嬢は支配人加藤誠氏同伴本日來布ウエスタンホテルへ

●出生　ソルタナ廣島縣人仁井吾一氏三男和夫十九日江田產院

●有江正次氏長女は康子と命名さる

●人院　佛教會の高田雷之助氏橋場病院へ

●寄附　後藤カチヨ嬢はグランマースクールをいづれも卒業ハイスクールをいづれも卒業の一椅に、後藤一夫氏は病氣全快の五弗づゝマデラ學園へ

日曜の教會

美以教會の禮拝說教は「人間の生命」（組合）なほ組合、美以兩教會とも午前九時半よりサンデースクール同十時半より禮拝說教——「我れ世に勝てり」加藤誠氏（美以）

ボース同盟（美以）

平和期成

同盟會

オークランド

昨十九日夜東學園にて開催、同盟會は平和期成同盟會總會を開催し内田雲記氏議長として開會の挨拶をなし同會經過報告を承認したるのち十七代表者と伊藤佐太郎氏より紐育港佛教聯合本部に佐藤氏より紐育港佛教聯合本部に佐藤氏より紐育港佛教聯合本部に佐藤

サクラメント（廿三日）

可弱き婦人の手で 獨力經營の大農園

井田總領事親しく訪問す　地主エリオット氏の歓迎

管内視察中なる井田總領事は去る廿一日朝にコートランドの坂田龜喜、辰喜兄弟、松穆馬太郎、星津常喜諸氏ならびに宮川日曾幹事の案内でホテルセキタを發し河下にくだつたが道を西サクラメントにとりホーランド島の坂田龜喜氏の農園をおとづれ井芹上田山下諸氏の農園を巡視し、もつて

▲可弱き同胞婦人が獨力で經營するアスパラおよび種物の二百三十一英加の大農園をおとづれた。その婦人は廣島縣人安井てふ子さんで年齢は四十三四才

▲坂田氏農園　本部にいたりシー、シー、モース種物會社の支配人デビソンもまたあはせてともに會食した。松穆氏の地主なるとともにコートランドきつのエリオット氏は總領事をねぎらひ、ポーチで歓迎の茶菓をすでに饗宴の後、同氏は二度も日本に出張したが、同氏は前日メーリー嬢で多數青年男女の教師および助手あり。黄名牧師監督の手工、裁縫、聖書、お話等三週間にわたり兒童に教授するよしなほ島海夫人を主催とせる同教會の裁縫講習會は一時やすむと

●婚式二件　當市第四街二瓶水藥店主二瓶氏と菊地廣子嬢の結婚式は既報のとほり本廿四日午後七時から櫻府教會で挙行された。

●夏期聖書學校　當市日本キリスト教會ではきたる廿五日より夏期聖書學校を開始すべく主事の結婚式は同日午後六時から同教會堂

●日曜教會　午前禮拜説教七時半シーイー　同八時半共勵會「饗造金貨の鑑定法」黄名牧師　午後七時半日曜

●美以教會　午前禮拜説教「現代の教會への歎示」パカビル佐木牧師　午後七時半日曜學校教師會

●浸禮教會　午前禮拜説教「選民の祈禱」土方牧師　午後七時半洗禮式　同八時半故八津幸兵衛氏三周年永眠記念新禱會

●教育學院　山田少校演説及松島特務歓迎蕎麦會　正十二時メーリー　カフエーで　午後二時送別會　午後八時「在米同胞の使命」小林螢峯

●佛教會　午後八時定例説教　毀水開教使

●フロリン美以　午前説教【教會意識】午後一時半総會　午後二時大正區日曜學校

◇各教會午前中日校例週通り

スタクトン（廿二日）

支社電話　一四四二

須市深水工事は 愈々七月一日開始

完成は二ケ年後

須市築港に關する一切の法案は本日加州知事の變表したところによると、現在の曲折した水溝を直線にし、波止場の建築や増加して四百萬加の土地買收はすでに調印を了したり。しかして七月一日よりの工事開始のため三臺の大形ドレジャーの二部、青年司令官、龜島、蒲地、上田、三力谷夫人等視察ありて竹森氏卒業生名を廿九順次紹介し、それより荒木秋子、荒木一郎、藤田淳、藤重繁子嬢等の視察ありてのち、佐々木開教使の挨拶ありて第二式にうつり、本田司會しアイスクリーム　サンドウイッチなどたくさん御馳走に出席者百餘名の青年男女は思ひ〳〵談笑に大いに興じたり。餘興として獨唱、合唱、俗謡などもよほしありて大喝采裏に散會す。ときに午後十一時半。因に今回伊藤正君佛青に入會し紀川花店より祝賀贈に英大の花の贈呈ありたりと

卒業生招待會

四國聯合同窓會年招待會は本夜八時半教會内にもよほさる。

●出生　ペニス島十二番村上松氏夫人は六月廿四日次女美和子出産母子ともに肥たりよしと

●寄附　田中寅氏は靜夫人ゆい子一週年に相當し追悼供養のため教會へ十弗、佛婦人會へ五弗寄附す

●小學卒業式　市公會堂にもよはさる須市十三校本年度卒業生四百十七名に達し、本日公會堂にて盛大に卒業の式は挙行されたり

●東禍使出発　學會總に出席のため廿二日出発

●鈴木氏移轉　天蓋堂の鈴木良太郎氏一家は南バンクウェン街の九三五番の自分所有の家屋に移轉す

●佐々木夫人來須　もと佐々木床同夫人はながら佐々木氏にわかれ中加の親元にありたるが本日來須したり。しばらくペニスホテルに滞在のよし

●鈴木庸氏死亡　鈴木庸氏夫人は數日前長女が娩ケウミ命名したるがつひに死亡したりと

●寄附　田中寅氏は靜夫人ゆい子一週年に相當し追悼供養のため教會へ十弗、佛婦人會へ五弗寄附す

●小學卒業式　市公會堂にもよはさる須市十三校本年度卒業生四百十七名に達し、本日公會堂にて盛大に卒業の式は挙行されたり

●東禍使出発　學會總に出席のため廿二日出発

●鈴木氏移轉　天蓋堂の鈴木良太郎氏一家は南バンクウェン街の九三五番の自分所有の家屋に移轉す

●佐々木夫人來須　もと佐々木床同夫人はながら佐々木氏にわかれ中加の親元にありたるが本日來須したり。しばらくペニスホテルに滞在のよし

●鈴木庸氏死亡　鈴木庸氏夫人は數日前長女が娩ケウミ命名したるがつひに死亡したりと

●卒業生招待會　四國聯合同窓會年招待會は本夜八時半教會内にもよはさる。

●出生　ペニス島十二番村上松氏夫人は六月廿四日次女美和子出産母子ともに肥たりよし

The Largest English Section Published Daily By Any Japanese Paper On This Continent

The Japanese American News

THE LARGEST JAPANESE NEWSPAPER PUBLISHED OUTSIDE OF JAPAN

A Newspaper Primarily For American Citizens Of Japanese Ancestry In The United States

NUMBER 10293 | Entered at the S. F. Post Office as Second Class Matter. | SAN FRANCISCO, CALIF., SUNDAY, JUNE 24, 1928 | Copyright 1928 by The Japanese American News | Per Month $1.00 Per Year $11.00

JAPAN

And Things Japanese

Japan and Things Japanese, a section devoted to present-day news and views, and ancient facts, regarding the Japanese people and their country, is a regular feature of the English Section.

THE JAPANESE GOLD FISH

There is no doubt that gold fish first came to Japan from abroad. As to when it was first imported, nothing exact is known. In a booklet entitled Kingyo-Aigaroku, "Experiences of a lover of Gold-fish" written at the beginning of the Shogunate Government era, it is stated: "For many years past, I have been looking for a person who knows when gold-fish was introduced to Japan, but with no success. To my pleasant surprise, however, an old man told me the other day that it was on the 20th day of the second year of Bunki (1502), that some gold-fish arrived at Sakai of Izumi Province on board a Chinese ship. They caused a sensation among the people of the neighborhood, but perished some months after."

In another old booklet entitled "Kiyu-Shoran, or "Pleasant records of Pleasant Things," it is written: "In ancient days there were no gold-fish in Japan. But they were introduced to this country during the era of Genna (1615-1623) from a foreign country. Now-a-days, there are many people who keep them." So it means by the latter record that gold-fish was imported into Japan sometime during the 17th century, while the former record claims it was more than one hundred years earlier than that.

But how much credit we can give to these records is another question.

The only historical factor that contributes to the credit of these records is that during the 15th and 16th centuries, thousands of Japanese Ronins raided the coasts of the South Sea Island and China in small boats called "Yawata-Bune" or "Bamansen" as they were named by the frightened Chinese people. It is probable that some of them brought home some Chinese gold-fish which they had obtained, or looted, in China. And it is equally probable that those gold-fish perished soon after their arrival in Japan owing to the lack of proper care by the keepers, whose lives and property were constantly threatened by the civil wars then raging all over Japan.

As soon as peace was restored by the Tokugawa Shogunate Government at the beginning of the 17th century the keeping and culture of gold-fish seem to have become a popular diversion. The astonishing rapidity with which gold-fish were introduced from one town to another all over Japan is an eloquent proof of the great liking for gold fish among the people in these days. An official notice by the magistrates of Yedo (present Tokyo) in the 7th year of Genroku (1694) reads: "All the citizens of Yedo are hereby ordered to present to the officials in charge a detailed list of all the gold and silver fish they keep. An honest list is required: there shall be no punishment whatsoever for the keepers of those fish."

(To be Continued)

ALL U. S. BORN GIRLS DO NOT WED JAPAN BORN MEN AVERS LASS; THEY'RE NOT THE TYPE

Parents Seek Economical Ties; Daughters Need Companionship

(This is the eighth of a series of articles on problems important to the second generation. Readers are invited to express their opinions on these questions in these columns.—The Editors.)

(Contributed)

This is the day of the "Dai Nisei"—the generation with the athletic stars, valedictorians, problems of vocation, how to speak "go-teinei no Ni-hon-go," to eat or not to eat "fu-niyu" and how to marry well. Ah, that last interests me. Let's go, now. See the issue from a college girl's viewpoint.

"Gather ye rosebuds while ye may," quoth the poet, and yet observe the charming, eligible, but ungathered roses. Old folks shake their heads and warn "You'll soon be too old."

Not Many Choices.

The question arises, "Why such a situation?" and the girls will tell you that there are not many choices. They say, "We older ones are not so fortunate as our youger sisters because there are not enough young men of our acquaintance who are of the second generation. There are many Japanese bred and born but—we couldn't understand them." That is only one of the problems.

I agree with Rev. Kowta about equal education. A girl desires a husband who is at least her intellectual equal, if not her intellectual superior, and also to make a successful marriage a couple should profess a common belief. Mr. Suzuki has stressed the importance of heredity which must be considered, and another has mentioned the necessity of good financial and economic standing. These three factors cannot be overlooked.

Lack Understanding.

The American-born and American-bred girl does not consider marriage with one who is totally Japanese-born and Japanese-bred because of lack of mutual understanding, and common interests. It must be the same with the American boys.

So girls, don't get "het up" if they insinuate something about a sweet, quiet Japanese type. Take it from me, they're only kidding. Also you boys mustn't feel neglected when someone remarks that all the girls are marrying banking and steamship company men from Japan. All of them don't!

Need Boy Friends.

We American girls belive in having many boy friends. In this way we are able to cultivate happy friendships and come to know and understand the characters of all the boys. This does not mean being fickle or notoriously "stringing" but being a friend to all. Most of us are not as lucky as a few who have childhood sweetheart, or "steadies" with whom they can go faithfully through high school and college days. In knowing the different boys we find a few whose character we admire and whom we really like. Then from this small group we find the One, see? A process of elimination may be slow but it is safe and wise.

Parents who sympathize and understand us never interfere or antagonize us by cross-examination on all the whys and wherefors. Instead they develop a fellowship with their daughters that invites confidence. They encourage us so that without reserve we reveal our innermost secrets to them and ask for their judgment on the "boy friend." Besides the parents an intimate girl friend will also give her opinion. The advice of friends influences us a great deal.

Seek Companionship.

The ideal of most Japanese parents is an economically successful marriage. Well and good, but that should not be all, for what we desire is ideal companionship. My man (shall I say?) must understand me and I must understand him. Many girls know if some splendid friend whom they respect and admire greatly, yet do not think of marriage with him because he is "not her type"

And now the last word before concluding this rambling bit of incoherence: boys don't work too fast! why she had so many "Baby Shieks" A popular young lady was asked and this is what she confessed, "I like the young kids—they're so cute. You know, they're very entertaining, and always take me as their pal. I can be my own natural self with them. These boy friends who are younger than I or about my own age do not get 'serious.' That is, fall for me or say they love me. That's why I like them.

"Now older boys are all right, but I'm kind of reserved with them because they're too anxious to fall in love. They want me to be steady and they take things too seriously!"

Take Your Time.

Flapper philosophy? Perhaps. But there is a grain of truth in her words. Young men, my advice is: cultivate a sane enjoyable companionship and take your time about letting it grow into something deeper and better. The girls prefer it that way.

Dear public, do not be unduly surprised if I say that we girls are still old-fashioned enough to firmly believe that a home is the greatest career any woman can pursue.

2 Japanese Honored By Institutes

FRESNO, June 23—(Special)—Two Japanese graduates of the public schools of Central California were given the honor of delivering the graduating addresses at commencements held in Clovis and Visalia, respectively.

Miss Sumiko Miyamoto, graduating student of a grammar school in Clovis was given valedictorian honors.

Kenji Watanabe of Visalia was elected to deliver the farewell address.

H. SASAKI TO BE HONORED

Farewell Service To Be Held At Temple

A special farewell service will be conducted by the Sunday school of the local Buddhist church Sunday morning from 10 o'clock, in honor of the Rev. Hosho Sasaki, superintendent of the Buddhist Mission in American, and Mrs. Sasaki, who are leaving for Japan July 4 aboard the N. Y. K. liner Taiyo Maru.

Mrs. Yamada, representing the Sunday school will deliver the farewell message and present the Rev. and Mrs. Sasaki with a souvenir gift.

The newly selected staff of the Sunday school instructors and assistants are:

Instructors—Wataru Iwasaki, Mitsuko Yoshimoto, Mitsugi Yoshinaga, Kiyoko Yamada, Eiko Enomoto, Takeo Hashimoto, Itoko Tsukada, Shizuko Matsumura, Minoru Sakaguchi, Telichi Ono; assistants—Mikio Fujimoto, Masako Matoi, Teruko Yoshimoto, Haruko Enomoto, Kiyoko Takahashi, Mitsuko Tanaka, and Makiko Ichiyasu.

BOY RESCUES YOUTH FROM DROWNING

American Is Saved By Japanese At Modesto

MODESTO, June 23.—(Special)—Plunging into the cold waters of the Tuolumne River, Takeshi Toyoda, 15-year-old Modesto high school boy rescued an unidentified American youth from drowning Thursday.

About twenty boys, American and Japanese were fishing from the bank. An American boy about ten years of age slipped into the water.

In a few seconds he was swept to deeper waters. He disappeared for a moment then rose to the surface again. Those who watched the victim stood motionless.

Toyoda heard the cries for help as he was fishing at another part of the river. He dashed to the scene. No time was to be lost. So Toyoda plunged into the river with his clothes and shoes on. The Japanese boy brought the American youth to safety.

Takeshi is the eldest son of Chujiro Toyoda of Modesto, and is a freshman at the Modesto Union high school.

"Not On Your Life"

IDA KOIKE

GIRL IS BACK FROM JAPAN

Says Food Agrees With Her; "But Don't Go"

"But don't go back to Japan."

This laconic advice was hurled at the interviewer by Miss Ida Fumiko Koike Friday on her return here from Nippon aboard the N. Y. K. line's Taiyo Maru.

"Not on your life," continued this winsome lass of Berkeley "They treat you so nice and the Japanese food seems to agree with you. You are liable to get fat."

Miss Koike has just concluded a two months' tour of Japan with her sister, Miss Alice Shizuko Koike, U. C. graduate, and her mother.

"We stayed in Japan only two months," continued Miss Koike, "but we saw quite a lot. The scenery of Japan was more beautiful than I anticipated. We spent some time in Kyoto and visited 'Yozansho' or sericulture places. They are growing silkworms on a large scale and in a very scientific way.

"They did not think we were the same people," she laughed. "They called us 'ijin san' wherever we went.

"I sure ame glad to get back to this country. But I like Japan too. I think both of them are wonderful."

The Misses Ida and Alice Koike are daughters of Jitsutaro Koike, prominent business man of San Francisco.

ATHLETICS DEVELOPES FRIENDSHIP

Sports Declared Ambassador of Amity

TOKYO, June 10—(Special)—The desire to introduce Japan to America through the medium of sports is the motive which drove Mr. Hikoo Shoji, assistant professor of economics and instructor in judo at the University of Southern California to invade these shores on a baseball tour. Mr. Shoji confided this to the Japan Times in an interview at the Imperial Hotel Friday after he and the party arrived in Tokyo.

International understanding, he believes, can best be fostered through healthy athletic competition between nations. The present visit to this country was undertaken with this point in view, according to the official leader of the expedition.

As a member of the Waseda alumni, Mr. Shoji was largely instrumental in arranging the present tour at the invitation of his Alma Mater. All games in Japan will be played under the management of the hosts.

In American Colleges.

Commenting on judo among the American colleges, he remarked that the U. S. C. was the only institution of its kind in the United States that has judo among its regular courses. Those taking up its study are given credit as in any other academic course. Last year 29 students were given credit in judo.

Mr. Shoji was emphatic in his praise of American students of judo. He believse that they are superior to Japanese college men, inasmuch as they are gifted with superior physiques, quicker perception and the faculty to understand sports better.

At the U. S. C. now there are two holders of the Second Degree of the Black Belt and four of the first degree. The former, he opined, would be a good match for the third degree expert in this country.

Can't Master All.

Although the Americans are very strong in judo, there are some tricks that they cannot master, according to Professor Shoji.

The U. S. C. today has the second largest number of Japanese students among the American universities, but their chances of breaking into college sports are very slight, said Mr. Shoji. They are handicapped physically and financially. As the offspring of hard-working emigrants they are of small stature and from the financial standpoint they are not free to spend their time entirely or mostly on sports. "But," he continued, "they are physically improving and that is a promising thing.

MATSUDAIRA SLATED FOR LONDON POST; DEBUCHI TO BE NAMED U. S. ENVOY

Promotion Of Ambassador Is Likely

TOKYO, June 23.—(Special)—Persistent rumors that Ambassador Tsuneo Matsudaira, who returned from the United States yesterday with his daughter, would be appointed Nippon's envoy to the Court of St. James seemed confirmed today when the Tokyo Nichi Nichi, leading local paper announced that Matsudaira would go to London.

At the same time the Nichi Nichi predicted that Vice-Minister of Foreign Affairs Debuchi would go to the United States as Matsudaira's successor.

Since the engagement of Miss Matsudaira to Prince Chichibu the promotion of the father of the future Princess Chichibu has been rumored in diplomatic circles.

The post at London being the only foreign ayppointment ranking higher than that of the Ambassadorship to the United States, it was only natural that Matsudaira should be mentioned as a candidate for that office in view of the recent return of Baron Matsui, Ambassador to London.

Many Attend Skating Rink Party Friday

Seventy five young people of the Bay districts attended a skating party given by the Japanese Y. W. C. A. of San Francisco at the Golden Gate Skating Rink on Eddy and Jones streets, Friday night.

The party started at 7 o'clock.

Dr. and Mrs. Fujita, Mr. and Mrs. Kido and Miss Yamamoto of the Y. W. C. A. acted as chaperones.

JAPAN HEARS NO SWEARING

Habit Unknown In Nippon, Declares Visitor

Someone has said that the bad habit of swearing knows no geographical limits.

This is denied by the Japanese scholar, Dr. Tasuku Harada of Honolulu, professor of Japanese institutions in the University of Hawaii. He says the habit does not exist in Japan.

The professor observed at the Stewart hotel that Shakespeare and other English writers have taken full notice of this habit in the Western world. In one of Shakespeare's many references to it, he makes one of his characters say:

"His spirit hears me
And yet I needs must curse."

Any similar reference about swearing cannot be found in any of the literature of Japan, he remarked.

"Naturally the Japanese people have many faults like other people, but they have never cursed as they do in the Western world, and in Oriental lands too," said he. "Some of my countrymen are imitating Westerners in this respect, but they are very clumsy when they essay to rip out oaths and profane language."

The distinguished visitor is on his way to Seattle to attend a Pacific Coast Conference on International Relations. He is to make an address on the relations between the United States and Japan.

He went to pains to point out that there in no Japanese problem in the Hawaiian Islands which in any way can affect the best interests of the United States there.

He says the Japanese living in the islands are law-abiding and industrious. All are fully awake to the great advantages of living where the laws of the United States hold sway, he ended.

Chicky Hinaga Chosen Head Of Nitto Club

SAN JOSE, June 22.—(Special)—Chicky Hinaga wes elected president of the San Jose Nitto Club in the semi-annual election held last meeting.

The new officers of the Nitto club are:

President—Chicky Hinaga.
Vice-President—Henry Dobashi.
Secretary—Harry Taketa.
Treasurer—James Uyemura.
Athletic Mgr.—Thomas Sakamoto.
Sgt.-at-Arms—Fred Inouye.
Yell Leader—Calvin Hashimoto.

VISIT MARTINEZ

OAKLAND, June 23.—(Special)—Instead of traveling to Concord, Sunday, the local Merritts will invade Martinez to play the Japanese nine there.

The game will take place on the Martinez diamond at 11 o'clock. The Merritts will leave Oakland at 8 a. m.

THE ROMANCE OF JAPAN

Through the Ages

By

JAMES A. B. SCHERER

An Interpretative Outline of the Story of Japan from the Introduction of Buddhism in 552 A. D. to the Passage of the Manhood Suffrage Act in 1925.

(Continued from yesterday)

On a sudden Ikkyu wheeled about and coolly faced him, pointing an accusing finger at his rage.

"Oh, horrible! Why, that is hell!"

A startled exclamation burst from the bushi, who flung his sword clattering to the ground as he confessed:

"Right you are, Your Reverence! This indeed is hell!—And so your honorable raillery just now was but a noble device by which you condescended to instruct me! Ah! The hell that had no existence until a few moments ago came into existence the instant I heard your Reverence's passing raillery! So, then—it is not fixed as to existence, and it is not fixed as to its non-existence! And for that very reason, I now perceive that it is a thing to be truly dreaded! Wonderful! Wonderful! I thank you a thousand times!"

With tears streaming down his face, the bushi made his obeisance, while Ikkyu smiled blandly and rejoined:

"How quickly you have understood! How happy you make me! Glory! Glory! Oh, this is heaven, this truly is heaven! . . ."

So runs the story; and was not that a very happy way of putting it?

It is the Zen philosophy in a nutshell.

11

The earthquake of 1923, although it spared Dai Butsu, played havoc elsewhere in Kamakura. Most impresive of all its pranks was a demoniacal trick played on the very God of Hell. In the thirteenth century this monstrous deity, Emma-O, was wrought into a great seated figure in wood, by that paragon of Japanese sculptors, Unkei, and then set up for propitiary worship in the modest little hillside temple of Enno-ji. Before the earthquake this King of Hell looked his part well. You had only to go into Enno-ji and put yourself in the proper frame of mind, when the gaping mouth of this prince of all devils; his ferocious scowl; above all his fiercely staring eyes, seeming to leap at you out of their sockets—no human artistry could have portrayed more vividly or powerfully the essential idea of menace. But the earth-quake added to Emma-O a touch of fairly superhuman art. Without in the least marring his hideous face, it smashed his hollow body to bits and then dropped his head straight down into his lap!

(To Be Continued)

Through Special Arrangement With Publishers

OUR JUNIOR SECTION

TODAY'S NEW MEMBERS

Martha Nishida, R. F. D. No. 3, Montrose, Colorado, age 14, birthday December 9.

George Uyeda, Rt. 3, Box 186 A., Lodi, age 10, birthday July 28.

Harry Uyeda, Rt. 3, Box 168 A., Lodi, age 8, birthday March 15.

Eunice Mohri, R. F. D., No. 5, Box 101, Bakersfield, age 12, birthday April 9.

Sadako Miyata, Star Route, Box 28, Brawley, age 14, birthday May 28.

Mary Laura Miyata, Star Rt., Box 28, Brawley, age 8, birthday Sept. 28.

Takeo Hamaguchi, P. O. Box 152, Livingston, age 9, birthday Aug. 30.

Minnie Hamaguchi, P. O. Box 152, Livingston, age 12, birthday June 1.

* * * * * *

Six more votes today for Blue and Gold for our Club colors. That makes the total 31.

Pink and White had one vote, bringing the total to 8.

New members who voted for Blue and Gold today are: George Uyeda, Harry Uyeda, Eunice Mohri, Sadako Miyata, Mary Laura Miyata, and Minnie Hamaguchi.

The member who chose Pink and White is Martha Nishida.

* * * * * *

The results thus far are:
Blue and Gold—31 votes.
Black and White, Red (read) All Over—14 votes.
Pink and White—8 votes.
Black and Gold—3 votes.

* * * * * *

We hope all of our members who haven't already sent in their votes will do so by the end of this month, as we'll decide on our colors next Saturday. Thus far it seems as though Blue and Gold is an easy winner. But let's see some of our other members vote for the weaker colors and make this contest interesting.

* * * * * *

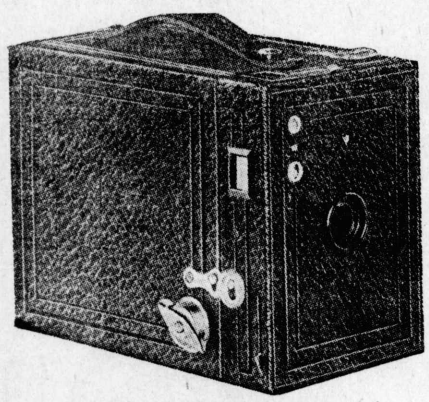
Kimiko Shinagawa asks us, What has two eyes but cannot see? Her answer is Arizona. We don't quite make out that riddle, Kimiko. But thanks, nevertheless.

THE WEATHER

Official Weather Forecast:

Sunday: Fair. Moderate to fresh westerly winds.

Boys and Girls-- Join The Junior Club



HOW YOU CAN GET THIS CAMERA:

This offer is open to all members of the Junior Club. If you are not already a member, send us your names, addresses, ages and the dates of your birthdays and we will include you among our growing membership.

HERE IS

An Astounding Offer

WE GIVE YOU AN

EASTMAN

No. 2A 2½x4¼ Roll Film Camera

FREE!

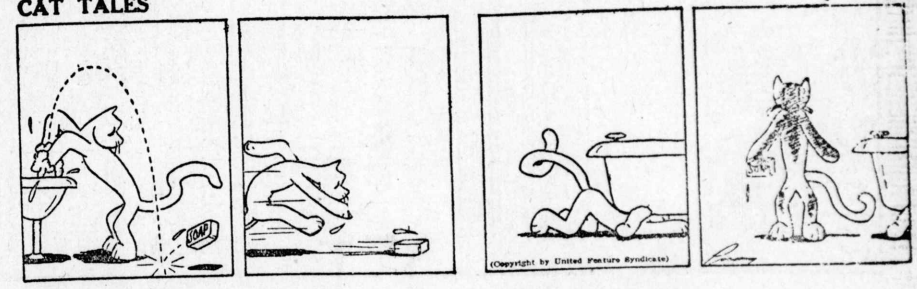
ALL YOU'LL HAVE TO DO IS GET TWO NEW 2-MONTHS SUBSCRIPTIONS OR ONE NEW 4-MONTHS SUBSCRIPTION TO THE JAPANESE AMERICAN NEWS WHICH AMOUNTS TO $4.00. Secure either one or two people to sign the coupons below, fill in your name and address, mail or bring in the coupons with $4.00 to our circulation manager, and after verification the FAMOUS EASTMAN CAMERA is yours, absolutely free.

Circulation Manager
The Japanese American News
650 Ellis Street,
San Francisco, California.

Dear Sir: Please enter my order for a ( ) months subscription. I have paid $_____, to _____, a Junior Club member.
Signed (By Subscriber) _____
Address _____
Order taken by
(Junior Club Member) _____
Address _____

Circulation Manager
The Japanese American News
650 Ellis Street,
San Francisco, California.

Dear Sir: Please enter my order for a ( ) months subscription. I have paid $_____, to _____, a Junior Club member.
Signed (By Subscriber) _____
Address _____
Order taken by
(Junior Club Member) _____
Address _____

CAT TALES

By Pusey